

「現地での支援活動報告（7月26日～8月4日）」

●「7月26日(金)～28日(日) 珠洲市・七尾市・輪島市」

能登半島最北端に位置する珠洲市禄剛崎（ろっこうさき）灯台から復興の狼煙（のろし）を上げる「のろしレー」イベントに参加しました。当日もかなりの猛暑でしたが、地元の方に喜んでいただけるようたくさんの焼き鳥を提供しました。その他、七尾市にある避難所の七尾サンライフプラザへ物資を届け、輪島市長井町のビニールハウスで避難生活を送る被災者の方へお弁当をお届けしました。また、27日と28日の2日間に渡り、GCくまもとから駆け付けたメンバーに社福GCメンバーが合流し、輪島市の宅田町仮設住宅でお弁当とファイバーサイクル衣類の配付会を開催しました。地元災害支援チームの厨房をお借りして、おにぎり・唐揚げ・玉ねぎスープを作り、仮設住宅で暮らす被災者の方々へ温かい夕食をお届けしました。

<支援メンバー>

GCひょうご：志築さん GCふくおか：棚町常務 GCくまもと：井上地域専務、橋本部長、松井センター長、濱口さん、牧局長、宮崎副局長 社福GC：本田専務、浦田さん、富岡さん GC共同体：浅島部長 現地スタッフ：樋間さん



禄剛崎灯台

《珠洲市狼煙町》



《七尾サンライフプラザ》



《輪島市長井町》



《輪島市宅田町①》



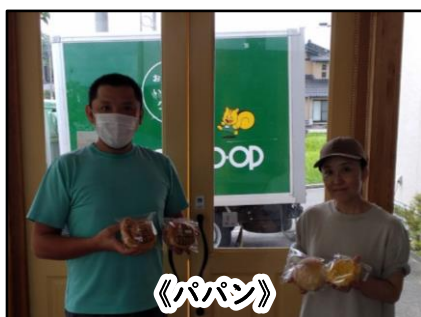
《輪島市宅田町②》

●「7月29日(月)～30日(火) 七尾市・輪島市・能登町」

七尾市のパパンでパンを引き取り、グリーンコープのネグロスバナナやチキンライスなどの物資と一緒に輪島市の「まちの児童クラブ」へお届けしました。30日(火)は、能登町にあるマツハコーヒーを視察訪問しています。マツハコーヒーでは全て有機栽培の豆を使用しており、売り上げの25%を能登町やボランティア団体へ寄付する取り組みを行っています。今後は、地元ボランティア団体による炊き出し時にも、マツハコーヒーを提供できればと考えています。また、グリーンコープ店舗での取り扱いに向けた検討も進めていきます。

<支援メンバー>

GC共同体：西岡専務 現地スタッフ：樋間さん



《パパン》



《まちの児童クラブ》



《マツハコーヒー》

●「8月2日(金)～4日(日) 能登町・七尾市・輪島市」

能登町の自立支援センターみずほでパンを引き取り、七尾市に拠点を置く被災地NGO協働センターへお届けしました。その後、輪島重蔵神社で行われた物資配布会に参加しています。8月4日(日)は、輪島朝市むすびでおにぎりや唐揚げを購入し、輪島市大沢地区の海岸で清掃活動を行って地元の漁師さんや地域の方へお届けしました。海岸沿いにある大沢地区は、能登半島地震で一時孤立状態になるほど甚大な被害を受けています。復旧・復興に向けて今後も継続した支援が必要です。

＜支援メンバー＞

現地スタッフ：樋間さん



《自立支援センターみずほ》



《NGO協働センター》



《輪島重蔵神社》



《輪島朝市むすび》

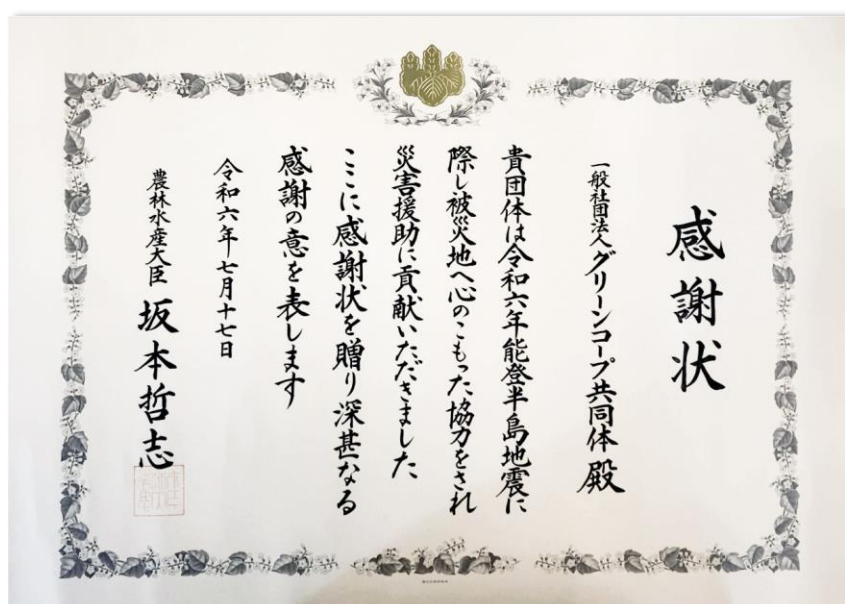


《輪島市大沢地区②》



《輪島市大沢地区②》

農林水産大臣より感謝状が届きました



幹線道路での輸送が困難だった1月中旬、水産庁は「漁業取締船」での支援物資輸送を行いました。その際、グリーンコープは「1万1,232缶」のサバ缶を提供しました。その姿勢が評価され、農林水産大臣より感謝状をいただくこととなりました。

グリーンコープの災害支援活動は、組合員からのカンパ金によって成り立っています。引き続きのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

